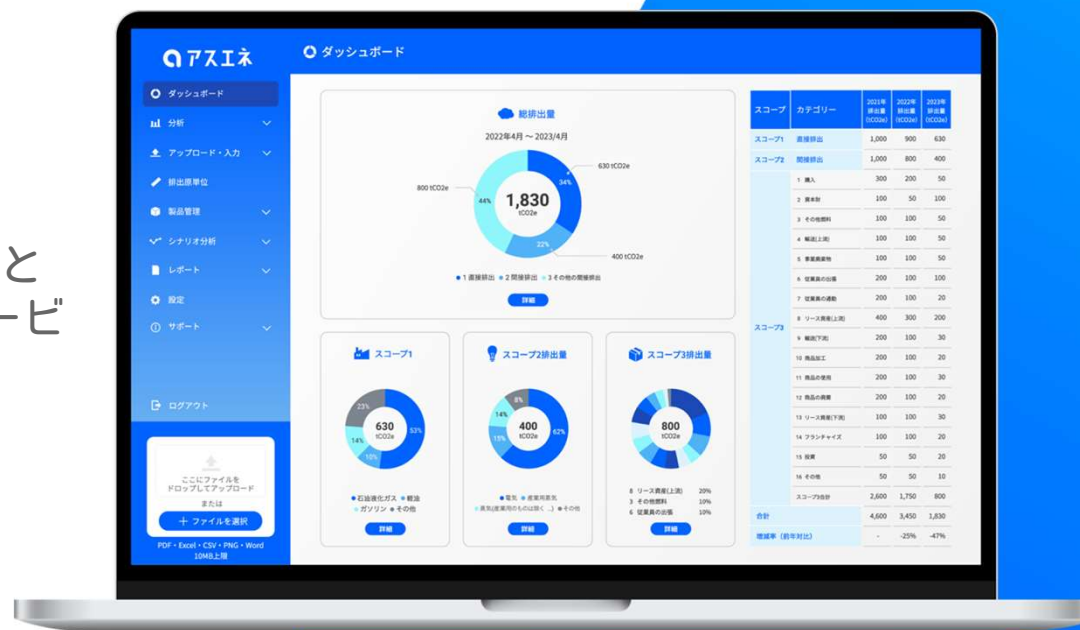


# 脱炭素経営支援と実践

抑えておきたい脱炭素経営の最新動向と  
CO2排出量見える化・削減クラウドサービス「アスエネ」のご紹介

アスエネ株式会社



## CONTENTS

- 1 アスエネのご紹介
- 2 脱炭素経営の最新動向
- 3 当社サービスのご紹介

Asuene

## CONTENTS

- 1 アスエネのご紹介
- 2 脱炭素経営の最新動向
- 3 当社サービスのご紹介

Asuene

## 本日の登壇者



取締役COO  
LCAエキスパート  
岩田 圭弘

公式Twitter



Asuene



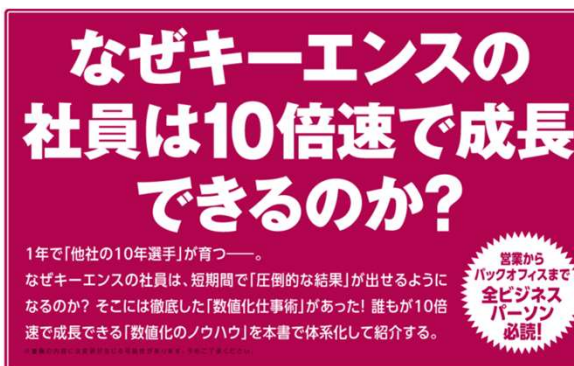
岩田

### 【職歴】

- ・慶應義塾大学 経済学部卒業
- ・株式会社キーエンス 入社
- ・株式会社三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
- ・株式会社キーエンス 入社
- ・アスエネ株式会社 入社

### 著書

「自分を変える数値化の思考法」  
(12/23 発売)



詳細はこちら

### 【主な業務経験】

2009年に株式会社キーエンスに新卒入社。  
2010年新人ランキング1位を獲得。  
2012年下期から3期連続で営業ランキング1位を獲得し、2014年上期に同期最年少でマネージャーに就任。その後本社販売促進グループで受注予測や営業施策立案、新商品の販売戦略の策定に従事。三菱UFJリサーチ&コンサルティングに転職。小売、医薬、建設の戦略策定に従事。  
2016年にキーエンスに戻り新規事業の立上げに携わる。  
2020年アスエネに参画。入社後セールス、マーケティング、CSのヘッドを務め、他業種のGHG算定、CDP回答支援、SBT認証支援、TCFD支援を実施。様々な業界知見を活かし、脱炭素支援を行う。

# 会社概要



**社名** アスエネ株式会社  
**設立** 2019年10月  
**代表者** 西和田 浩平  
**株主** 経営陣、Incubate Fund、環境エネルギー投資、STRIVE  
パビリオンキャピタル、GMO VenturePartners、Axiom Asia  
Salesforce Ventures、SBI Investment、Glin Impact Capital他  
**資本金** 25億2,681万円（資本剰余金含む）  
**事業** 1)CO2排出量見える化・削減クラウドサービス「アスエネ」  
2)ESG評価クラウドサービス「ESGクラウドレーティング-ECR-」  
3)カーボンクレジット・排出権取引所の開設を目指す新会社「Carbon EX」  
**認定/加盟** CDPパートナー、JEITA、RE100運営事務局JCLP 他  
**認証** ISO27001(ISMS)、ISO14064-3  
**本社** 東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門一丁目ビル WeWork 4階





## CDP気候変動コンサルティングパートナー

### <CDPとは>

- CDPは、2000年に英国で設立された国際環境NGO。
- ESG情報開示の「E」に関するグローバルスタンダード。2021年度は13,000社を超える企業がCDPに情報を開示。
- 2021年、投資運用総額110兆米ドル、746を超える投資家からの要請を受ける。
- サプライチェーンメンバーへの開示対象企業は23,000社以上。

### <CDPコンサルティングパートナー認定>

- アスエネは日本初でCDPのコンサルティング、スコアリングパートナーに採択。
- アスエネはCDPのパートナーがリリースした業界初の信頼性の高いCO2見える化のクラウドサービス。
- 算定のみならず削減、バリューアップのご提案が可能。



×



## CONTENTS

- 1 アスエネのご紹介
- 2 脱炭素経営の最新動向
- 3 当社サービスのご紹介

Asuene



## 外部環境 -サプライチェーン全体での算定が求められる背景-

- 21年6月、東京証券取引所は、企業価値向上の為CGコード改訂を発表。新たにサステナビリティの取組が追加、プライム市場で気候変動の取組・情報開示を要請。

### 補充原則3-1 サステナビリティについての取組み

CGコード	開示内容・企業と投資家の対話ガイドライン
サステナビリティについて基本方針を策定し自社の取組を開示	サステナビリティに関する取組を全社的に検討・推進の為の枠組み整備
【プライム市場上場企業】TCFDまたはそれと同等の国際的な枠組みに基づく気候変動開示の質と量を充実	TCFD提言の項目毎の開示有無、シナリオ分析を行っている場合にはその旨等

#### プライム市場

多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動性）を持ち、より高いガバナンス水準を備え、投資家との建設的な対話を中心に据えて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場

CGコード  
全原則の適用（より高い水準）

#### スタンダード市場

公開された市場における投資対象として一定の時価総額（流動性）を持ち、上場企業としての基本的なガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場

CGコード  
全原則の適用

#### グロース市場

高い成長可能性を実現するための事業計画及びその進捗の適時・適切な開示が行われ一定の市場評価が得られる一方、事業実績の観点から相対的にリスクが高い企業向けの市場

CGコード  
基本原則の適用

出所：2021年7月21日、株式会社東京証券取引所「コーポレートガバナンス・コードの全原則適用に係る対応について」

# サプライヤーへのSBT目標設定 2023年3月1日現在

## サプライヤーへSBT目標設定を求める企業も増大。

### Scope3の削減目標として、サプライヤーへのSBT目標設定を掲げるSBT認定企業一覧

[出所] Science Based Targetsホームページ CompaniesTakeAction  
(<http://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/>) より作成

企業名	セクター	目標			概要
		Scope	目標年	目標	
大和ハウス工業	建設業	Scope3 カテゴリ1	2025年	購入先サプライヤーの90%にSBT目標を設定させる	
第一三共	医薬品	Scope3 カテゴリ1	2020年	主要サプライヤーの90%に削減目標を設定させる	
ナブテスコ	機会	Scope3 カテゴリ1	2025年	主要サプライヤーの70%に削減目標を設定させ、2030年までにSBTを目指した削減目標を設定させる	
大日本印刷	印刷	Scope3 カテゴリ1	2025年	購入金額の90%に相当する主要サプライヤーに、SBT目標を設定させる	
イオン	小売	Scope3 カテゴリ1	2021年	購入した製品・サービスによる排出量の80%に相当するサプライヤーに、SBT目標を設定させる	
ジェネックス	建設業	Scope3 カテゴリ1	2024年	購入した製品・サービスの排出量の90%に相当するサプライヤーに科学に基づく削減目標を策定させる	
コマニー	その他製品	Scope3 カテゴリ1	2024年	購入した製品・サービスによる排出量の80%に相当するサプライヤーに、SBT目標を設定させる	
武田薬品工業	医薬品	Scope3 カテゴリ1, 2, 4	2024年	購入した製品・サービス、資本財、輸送・配送（上流）による排出量の80%に相当するサプライヤーに、SBT目標を設定させる	
国際航業	空運業	Scope3 カテゴリ1, 2	2026年	購入した製品・サービス、資本財による排出量の65%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる	
浜松ホトニクス	電気機器	Scope3 カテゴリ1	2026年	購入した製品・サービスによる排出量の76%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる	
朝日ウッドテック	その他製品	Scope3 カテゴリ1	2027年	購入した製品・サービス、輸送・配送（上流）による排出量の80%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる	
ロッテ	食料品	Scope3 カテゴリ1, 2, 4	2027年	購入した製品・サービス、資本財、輸送・配送（上流）による排出量の80%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる	
ルネサス	電気機器	Scope3 カテゴリ1	2026年	購入した製品・サービスによる排出量の70%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる	
ソニーグループ	電気機器	Scope3 カテゴリ1	2025年	購入した製品・サービスによる排出量の10%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる	
REINOWA HD	電気機器	Scope3 カテゴリ1	2026年	カテゴリ1（購入した製品・サービス）を対象とした排出量の76%に相当するサプライヤーのSBTの目標を設定させる	
AGC	ガラス・土石	Scope3 カテゴリ1, 3	2027年	購入した商品とサービス、および燃料とエネルギー関連の活動を対象としサプライヤーの30%に科学に基づく目標を設定させる	
DIC	科学	Scope3 カテゴリ1	2027年	購入した商品やサービスをカバーするサプライヤーの80%に、2027年までに科学的根拠に基づいた目標を設定させる	
ブリヂストン	ゴム製品	Scope3 カテゴリ1	2026年	購入した製品・サービスに関わる排出量の92%に相当するサプライヤーにSBTの目標を設定させる	

## サプライチェーン排出量の削減要請

大型メーカーはサプライヤーに対して排出量削減要求を強めており、サプライチェーン排出量の削減は大企業にとって重要なESG施策・株主対応・社会的義務になり、中小企業との更なる連携が重要。

業種	企業	要請内容
自動車	トヨタ自動車	主要部品メーカーに21年のCO2排出量を前年比▲3%の要請
	ホンダ	主要備品メーカーに25年度からCO2排出量を19年度比▲4%の要請
	日産	10社弱の主要部品メーカーとCO2を減らすうえでの課題を共有する取り組みを開始
	フォルクスワーゲン	一部のEVでサプライヤーにカーボンニュートラルを義務付け
	ダイムラー	39年までにサプライチェーンでのカーボンニュートラルを目指す
電子部品	Apple	取引先に再生可能エネルギー100%の使用を推奨
卸売り	セブン&アイ	サプライチェーン全体のCO2排出量改善余地の把握と働きかけをしていく

## CONTENTS

- 1 アスエネのご紹介
- 2 脱炭素経営の最新動向
- 3 当社サービスのご紹介

Asuene

## 2つのビジネスモデル アスエネ & ECR

環境パフォーマンスの管理だけでなくサプライチェーンESG情報の管理、コンサル、カーボンオフセットまでカバーする商品ラインアップを有しています。



日本初のカーボンクレジット・排出権取引所の新会社をSBIとアスエネで共同設立。クレジット創出から一次・二次流通等をてがける

### GHGコンサル

企業様の業種業態に合った削減のご提案で、削減まで伴走型のご支援をいたします。



### アスエネ

システム+コンサルで、CO2排出量の見える化から削減まで一気通貫の支援

### アスエネESG

持続的なサプライチェーン調達のためのESG評価

### ESGコンサル

イニシアチブの開示対応をはじめ、企業のESG対応を包括的にご支援

## 「CO2排出量見える化サービス累計導入社数」国内No. 1獲得

株式会社東京商工リサーチが発行した市場調査レポート「CO2排出量見える化サービス 導入社数調査」において、CO2排出量見える化サービス累計導入社数 国内No. 1\*を獲得。



\*東京商工リサーチ調べ\*2023年7月時点

## C02見える化-報告までの課題

C02の見える化、削減、オフセット、報告は専門性が高く、やり方がわからないという要望が多い。

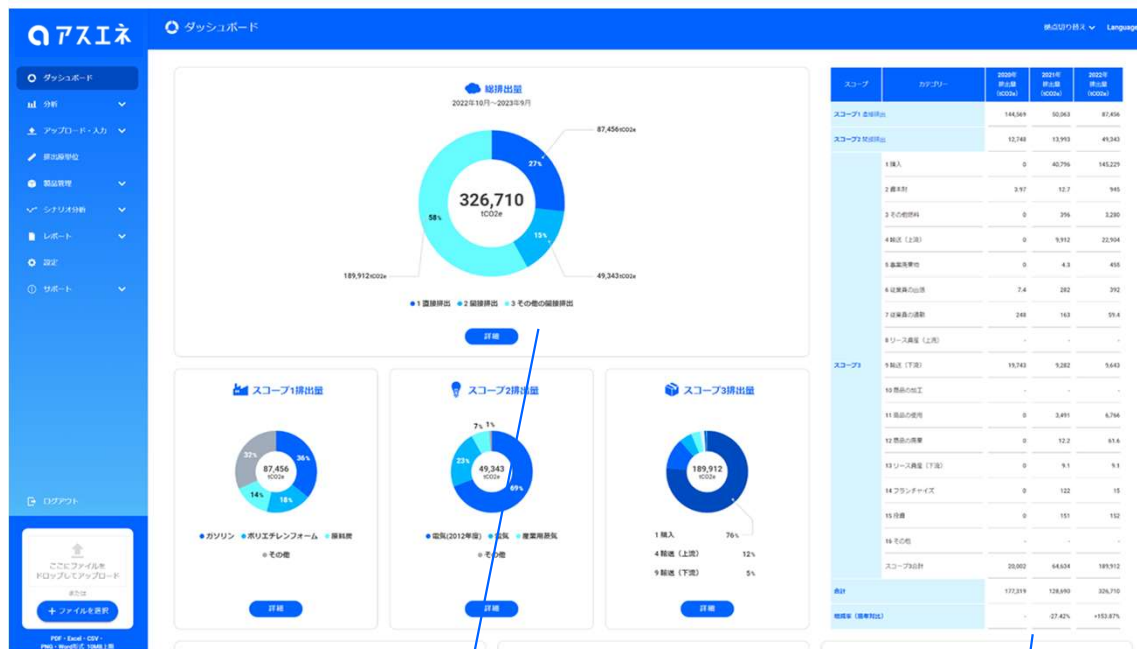
### フェーズでの課題

- 1 見える化
  - ✓ 算定方法や算定範囲をどのように設定すればよいかわからない
  - ✓ 計算結果が正しいかどうかわからない
- 2 削減
  - ✓ 最適なC02削減手法や費用対効果がわからない
  - ✓ どんな削減目標やシナリオを作ればよいかわからない
- 3 オフセット
  - ✓ クレジットの種類が多すぎて、どのクレジットを調達したらよいかわからない
  - ✓ クレジットの適正な価格水準がわからない
- 4 報告
  - ✓ 報告対象が多く、また算定の範囲も違うので、どのように報告すべきかわからない
  - ✓ 国内の省エネ法・温対法とGHGプロトコルの範囲が異なる

# 洗練されたインターフェース



使いやすいUI・UXでCO2排出量の全体像の把握から原因分析までワンストップ管理が可能。



Scope別GHG総排出量 円グラフ

Scope1-3の排出量を円グラフで見える化

Scope別GHG排出量 3カ年比較

Scope1-3の排出量を年ごとに比較が可能



月ごとGHG排出量推移

月別でGHG排出量の推移を見える化



データ回収率

正確性の担保のためデータ入力・回収率を可視化



## アスエネ 3つの特長

3つの特長でお客様の業務工数を最大70%削減、CO2削減のワンストップソリューションを実行。

### POINT 01 AI×ISO14064-3認証による正確なデータ入力

- AI-OCRを活用し、領収書アップロードのみでCO2算定
- Scope3全計算方法においてISO14064-3により妥当性を保証



### POINT 02 CDPコンサルティングパートナーによる導入支援

- システム提供だけでなく、バウンダリ設定、算定方法の選択までCDP認定のコンサルタントが支援



### POINT 03 CO2削減もまとめておまかせ

- クリーン電力・クレジットなどワンストップソリューションを提供して目標達成のご支援



# カーボンフットプリント (CFP) 算定機能

「製品CFP」の算出機能もリリース。Pathfinder Framework、ISO14044、GHG Protocol Product Standard、PEF、PEFCR、といった国際基準に準拠。

## CFP (製品排出量)



Asuene
製品管理 | 詳細

ダッシュボード
分析
アップロード・入力
排出原単位
製品管理
製品一覧
活動量分割ルール
シナリオ分析
レポート
設定
お問い合わせ
ログアウト

### 製品LCA

**16,000**  
Kg-CO2e

#### LCAダッシュボード

種類	単位量	割合	合計年度
原材料調達	3,200	20.0%	
生産	2,000	12.5%	
輸送	2,800	17.5%	
使用	6,400	40.0%	
廃棄・リサイクル	1,200	7.5%	
その他	400	2.5%	

#### 一次データの利用率

使用した一次データの原単位: **4** 個

排出量に占める割合: **9.0** %

#### 管理品目のCO2排出量TOP3

品目	プロセス	CO2量(kg-CO2e)	割合
1	ガス	1,203	16.4%
2	ポリプロピレン	1,080	16.0%
3	電気	345	3.3%

#### CO2e計上の詳細

計上ルール	品目	名称	活動量	単位	CO2排出量(総量)	計上CO2排出量 (tCO2e)	プロセス	プロセス詳細
2022年2Q按分ルール	電気	2022年9月電力	200	kWh	0.9	0.3	使用	使用に伴う放出・吸収
2022年2Q按分ルール	ポリプロピレン	2022年9月原材料	17	t	0.77	0.74	原材料調達	原材料調達

ここにファイルをドロップしてアップロード

または

+ ファイルを選択

PDF・Excel・JPEG・CSV・PNG・Word形式 10MB以上

# アスエネユーザーコミュニティ「Net Zero Community」

会社の規模や業種に関わらず、平等にネットワーキング・セミナーに参加できる。  
また特定の業界や勉強したい項目専門の分科会で専門議論もできる。



## 主要コンテンツ例

オンボーディング	勉強会	ネットワーキング
基礎知識セミナー	有識者セミナー	全ユーザー交流会
操作説明会	規制動向勉強会	認定制度
機能アップデート説明会	業種特化勉強会	事例共有会

 **Asuene**